

No.2858

2017-2018年度

会長 成川 守彦  
幹事 橋本 拓也  
R広報委員長 應地 正章



島海碩書

第2640地区  
 例会日 毎週木曜日 12:30  
 例会場 紀州有田商工会議所6F  
 事務所 〒649-0304  
 有田市箕島33-1  
 紀州有田商工会議所2F  
 有田ロータリークラブ  
 Tel (0737) 82-3128  
 Fax (0737) 82-1020  
 創立 昭和34年6月15日  
 ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
 e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

- 1. 真実かどうか
- 2. みんなに公平か
- 3. 好意と友情を深めるか
- 4. みんなのためになるかどうか



本日のプログラム

平成30年2月1日 第2859回

- ・ 会員卓話：嶋田 崇君  
「童心にかえる」
- ・ ソング：「君が代」「我らの生業」

前回の報告（第2858回例会）

開催日 平成30年1月25日(木)

点 鐘 (成川(守)会長)

ゲスト・ビジターの紹介

(橋爪(誠)親睦活動副委員長)

ゲスト:太田美香様(エムズカフェ フラワーデザイナー)

ビジター:亀井裕恵様

今月の誕生・結婚祝

(橋爪(誠)親睦活動副委員長)

会員誕生:丸山君

配偶者誕生:川口恵美子さん、丸山初代さん

結婚記念:橋爪(正)君、橋爪(誠)君、中村君、宮井君



1月が結婚記念日の橋爪(誠)君、中村君に成川会長から記念品が贈られました。

橋爪(誠)君:ご結婚16年目「奥様にはいつも最大級の感謝をしています。今後もよろしくね!!」

中村君:ご結婚25年目「おかげ様で25周年、銀婚式を迎えることができました。50周年の金婚式は81才、生きていられるか?」

2017-2018年度クラブ方針

ロータリーを知ろう

～温故知新～

次回のお知らせ

平成30年2月8日 第2860回

- ・ 外部卓話：足立 朋実 様 (JICA)  
「イスラム教徒は怖い?」
- ・ ソング：「ROTARY」



ニコニコ箱の報告

(中元SAA)

成川(守)君:太田様、毎月プリザーブドフラワーをありがとうございます。本日の卓話、よろしくお願い致します。

橋本君:太田美香様、ようこそ有田RCへ。本日の卓話よろしくお願い致します。

児島君:太田美香さん、本日、卓話楽しみです。

児嶋君:太田さんの卓話、たのしみにしています。お願いします。

石垣(洋)君:太田美香様、本日、卓話楽しみにしています。

川口君:太田美香様、本日の外部卓話、宜しくお願い致します。

橋爪(誠)君:太田様、毎月ステキなプリザーブドフラワーありがとうございます。本日の卓話、よろしくお願い致します。亀井様、ようこそ有田RCへ。

嶋田(ひ)君:太田美香様、本日の卓話よろしくお願い致します。花、大好きの私なので、とても楽しみにしています。

井上君:太田様、卓話楽しみです。

上野山(捷)君:太田美香様、本日の卓話、楽しみにしています。

上野山(英)君:太田美香様、本日、卓話にお越しいただき有難うございます。

松村君:フルーツコンポート、おいしくいただきました。成

戸さん、ありがとうございました。

菅原君:太田様、卓話よろしくお願い致します。

酒井君:太田美香様、本日はようこそ有田ロータリークラブへお越しいただきました。卓話、よろしくお願い致します。

中元君:太田様、亀井様、ようこそ有田RCへ。



**出席報告**

(脇村例会運営委員)

本日の会員数32名  
 (出席規定免除会員9名)  
 出席会員数22名  
 (出規定免除会員6名)  
 75. 86%  
 1/11 93. 33%  
 MU:なし

**会長の時間**

(成川会長)

先週の企業訪問(ローテーション・デー)では、「ふみこ農園」さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

今日は、国際ロータリーのHPに載っていました「2017年のハイライト 総まとめ」を紹介します。



**有名人のサポーターが続々登場**

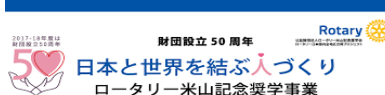
年に1度のロータリー祭典「国際大会」ロータリー財団生誕の地アトランタで開催。



ビル・ゲイツ(実業家)  
 ジャック・ニクラウス(プロゴルファー)  
 アシュトン・カッチャー(俳優)  
 ジョン・シナ(プロレスラー、俳優)など  
 著名な**ゲスト**が数多く参加しました。

**日本のロータリーも活気**

米山記念奨学会が50周年を迎え、



緒方貞子さんがロータリー財団学友世界奉仕賞の受賞者に選ばれるなど、日本でも話題の多い1年でした。



緒方貞子氏  
<https://rotarylogja.wordpress.comより抜粋>

**「人類に奉仕する」 「変化をもたらす」**

2016-17年度ジョン・ジャーム会長のテーマは「人類に奉仕するロータリー」  
 2017-18年度イアン・ライズリー会長のテーマは「ロータリー：変化をもたらす」でした。  
 これらのテーマに沿って活動した2017年は、ロータリー財団100周年やローターアクト50周年など、ロータリーにとって節目となる1年でした。

1月には、日本から総勢60人のロータリアンがインドでの全国予防接種日にワクチン投与活動に参加。

ロータリーの各種メディアでも取り上げられ、アトランタ国際大会ではビル・ゲイツ氏がこの活動を称賛しました。

2016-17年度には、日本の全クラブがロータリー財団に寄付を行うという快挙を成し遂げ(おそらく国としてはロータリー初)、財団100周年を最高の形で祝いました。

6月のアトランタ国際大会では、ロータリーの新しい公共イメージキャンペーン「**世界を変える行動人**」が初公開。  
 また、日本を含む各国政府や諸団体から**ポリオ撲滅への10億ドル以上の支援**が発表され、各国メディアが報道。会場では**安倍首相を含むメッセージ映像**も上映され、大いに沸きました。

クラブでは、昨年に続き、工夫を凝らした**会員種類や例会形式など柔軟性と革新性の導入**が数多く報告されました。従来とは違う画期的な運営を行いながら、**若い世代の入会促進に成功しているクラブ**が続々と増えています。

**2017年のそのほかのニュース**

数々のエキサイティングな出来事があった2017年ですが、悲しいニュースもありました。  
 7月の新年度が始まってすぐ、世界中のロータリアンに惜しまれて**サム・オオリ会長エレクト**が急逝。故オオリ氏の祖国ウガンダだけでなく、世界中のロータリアンがその逝去を悼み、**追悼基金**に支援を寄せました。また、急ぎよ招集された会長指名委員会によって**バリー・ラシン氏が新たに会長エレクト**として選ばれました。

**「ロータリー初」もいろいろ**

ロータリー初となる出来事もいくつかありました。その1つがジュネーブで開催された「**EUでのロータリーデー**」。欧州連合(EU)高官とロータリアンが今後のパートナーシップについて話し合い、欧州におけるロータリーのさらなる活躍が垣間見られました。

さらに、例年ニューヨーク国連本部で行われる**ロータリー国連デー**は、初めて**ジュネーブの国連欧州本部にて開催**され、**平和の構築に貢献した6名が表彰**されました。

**「Public relations」**

ここで、「広報」について、少し述べたいと思います。皆様、「広報」について、どのようにお考えでしょうか？

東京東RCの1974～75年度第358地区ガバナー 佐藤千壽 様(せんじゅ)(1918～2008:90歳没)の講話から紹介します。

広報は、英文では「Public relations」です。直訳すれば、「公的關係」。つまりロータリーの広報とは、地域社会、一般大衆とロータリーとの相互理解を深め、お互いに協力しあって、よりよい社会を作るための活動でありま

す。そしてその一つの手段として、社会的影響力の大きいマスコミとの良好な関係を築くとか、意義ある業績について広告・宣伝するということになりませんが、ともかく、ロータリーの雑誌を公衆の目に触れる場所に配布するとか、マスコミ関係者を複数会員に取り込むとかいうことは、いずれも枝葉末節の便法であります。

地域社会との関係、公衆との間柄という「Public relations」の王道は、日常生活において、現実社会と接触しているロータリアン個人個人の行動の中にあるのです。会員一人一人の生活の姿勢が、立派であれば、もうこれ以上の立派な広報は無いのであります。そして、ロータリアンと社会との接点は、まさに職業でありますから、ロータリーの広報の窓は、まず職業にあります。職業こそ広報の王道です。職業における会員一人一人の姿勢を正すこと、広報は、そこから出発するのです。

全世界の120万人を超えるロータリアンが、自らを広報の重要な媒体であると自覚し、高々と理想を掲げ、それに燃えて自己研鑽に励み、奉仕を実践しはじめた時、はじめてそれがロータリーの真の広報となり、ロータリーを高めることになるのであります。

ロータリーの広報の問題については、「セントルイス宣言」決議第23-34号第6項の3に、「RCが奉仕の実践活動を選択する場合、広報宣伝を主要目的としてはならないけれども、ロータリーの影響を強める一手段として、すぐれたクラブの事業計画が見事に成功した場合、妥当な広報宣伝を行わなければならない」とあります。即ち、基本的には、広報宣伝をしてはならないのでありますが、適切な広報の媒体がある時に限り、広報をしても差支えない、と言っています。私は、ロータリーの奉仕の実践は、本来、広報になじまないものであると思いますが、仮に、ロータリーの広報を考えるとすれば、それは、ロータリーが積極的に、己の為したることを社会の人達に知らしめるのではなく、逆に、社会の人達の方から、ロータリーの為したることを認めてくれるものであるべきだと思います。このように、話されています。

### 幹事報告 (橋本幹事)

1. 先週開催した第7回定例理事会について

報告事項は1件

①PDG久保さんから岡本ガバナーへの手紙4通(幹事)

協議事項4件すべて承認

①1月試算表(会計)

②ロータリー財団地区補助金特別会計において、クラブ負担金が為替レートの影響で当初予算より円ベースで8,100円多くなった。その差額を予備費から充当する。

③2017~18年度後期IDMの実施計画(情報・研修委員会)日程調整が必要な方はリーダーに話す。

④ロータリー財団地区補助金事業報告書について(ロータリー財団委員会) 事業報告書は記載できるところはすべて記載する。有田タイムス以外に特報も掲



載予定なので、和歌山特報に掲載されてから両方の記事を添付して報告する。

⑤姉妹クラブ・友好クラブアンケート(幹事) 当クラブは該当なしで報告する。

2. 他クラブから例会変更のお知らせが届いています。

3. 和歌山特報1月21日号に、我々のミャンマーでの国際奉仕事業、及び1月11日開催のサプライズ新年ディナーショーが掲載されています。

### 委員会報告

\*次年度理事会(上野山(栄)会長エレクト)

2月8日、第2回次年度理事会を例会終了後、例会場で行います。次年度理事の方、よろしくお祈りします。議事については後日、お知らせします。

\*社会・青少年奉仕委員会(井上委員長)

3月15日は箕島中学校での職業紹介事業の日です。早めに出欠をお願いします。

### 卓話

<太田美香様のご紹介—成川(守)会長>



太田美香さんを紹介いたします。既に皆様は、彼女の事をご存知だと思います。多くの方は、お会いしています。いつ?..誕生日記念と結婚記念の「プリザーブドフラワー」を通じてです。そうです。彼女の作品です。

太田さんとは、FBを通じての知り合いです。2年前、ホワイトデーにプリザーブドフラワーをお願いしたのが始まりです。安くて素敵な作品をいただきました。

太田さんについては、資料を配布していますし、後程卓話でお話があると思いますので、簡単に略歴を紹介いたします。

大阪府大東市出身の太田さんがフラワーアレンジメントに出合ったのは21歳の時。勤めていた会社の華道部で習い始め、才能が買われて3年後にアシスタントに抜かされた。結婚を機に和歌山に移住し、「Ms花fe(エムズカフェ)」を立ち上げた。脱色した生花に色を付けて乾燥させたプリザーブドフラワーや、生花を使ったオーダーメイド品を全国から受注するほか、大阪や和歌山で教室を開いている。...と新聞記事に載っています。

昨年、日本最大級の花の展示会「プリザーブド&アーティフィシャル・フラワー・コンテスト」で、プリザーブドフラワー販売業者が選ぶ「モノインターナショナル賞」を受賞

しています。又、今年、同コンテストで、プロ写真家が選ぶ「ベストフォト賞」に輝きました。凄いですね！

では、卓話をよろしくお願ひします。

### 「和歌山の花を使った新しい試み」



M's花fe  
エムズカフェ  
フラワーデザイナー  
太田 美香 様

生け花を習うつもりが、フラワーアレンジメントの世界へ。現在、お花のアレンジメントの販売、商品開発、個人、企業様向けのスクールをしています。最近では、お花をもっと身近で手軽なものだと感じてもらいたくて、お花を扱ったイベントも開催しています。お花全般を取り扱っていますが、和歌山ではプリザーブドフラワーがほとんどです。長期間保存できるので、インテリアやお祝いに、水やり不要で、花びらや花粉も落ちず、匂いもないことから、お見舞のお花や仏花に、また、生花にはない色で個性を生かせるアレンジメントも可能です。

私は大阪から和歌山に来たのですが、和歌山にはお花屋さんが多いと感じ、お花のことを調べているうちに、和歌山はお花の出荷が多いと知りました。ご縁があって和歌山に来たのだから、和歌山のお花をプリザーブド加工して商品にと思いましたが、加工にはコストがかかり、技術も必要と知り、一人では絶対に無理だと思いました。ところが、昨年、出始めた「ハーバリウム」に目をつけました。ハーバリウムとは、ガラス瓶に花材を詰め込み、特殊なオイルに浸して作る新しい形態のお花で、その花材にはドライフラワーも可能であることを知り、ドライフラワーなら、私にもできるし、加工にさほどコストもかかりません。そして、現在、ハーバリウムのイベントに花材として取り入れています。これにより、和歌山はお花も有名であることを広く知ってもらえ、県外、海外から来られた方には、体験会などで和歌山のお花を使ったハーバリウムも作ってもらえます。

和歌山のお花を使うことによって、和歌山のお花を知ってもらいたい、知ってもらうことで和歌山のことも知ってもらいたい。私がしているお花の仕事を通して、私なりに和歌山に貢献していきたいと思っています。

閉会・点鐘 (成川(守)会長)

### ＜太田美香様の作品＞



2017年「プリザーブド&アーティフィシャルフラワーコンテスト」でプロの写真家が選ぶ「ベストフォト賞」を受賞した「花の舞」。

この大会の共通テーマは“プレシャスタイム〜とっておきの時間〜”。感銘を受けた日本舞踊の魅力を伝えようと、しなやかさと躍動感を込めた作品。

和柄の帯や着物生地を散りばめ、細かくきりっとした紅白の花を中心に、紫色に染めたすだれをねじり、放射状に広がる線で扇子の動きを表現。細かい葉のペアガラスは長短を付け広がりを持たせることで、舞いの優美な力強さを表した。



2016年の同コンテストで特別賞「モノインターナショナル賞」に輝いた『シンデレラ』。

友達が階段を一段ずつ上がってガラスの靴を手にするサクセスストーリーを思い描いた。

ガラスの靴と12時を指す時計に、ピンクや白のバラと紫色のあじさいを織り交ぜ、かすみ草とパールで優しさときらびやかさを演出した。